

科 目 名	学年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位		
中国語Ⅱ ChineseⅡ	5MESC	2	100分×30回	選択	通年・講義	○		
教 員 名	野村 和代:NOMURA Kazuyo							
授業概要	4年次に学んだ初級の内容を定着させつつ、更にレベルアップしていくことが目的で、ボキャブラリーを増やし、ヒアリング力をアップさせることで、スムーズに会話ができるようトレーニングを重ねていく。まず初級の段階で学んでいなかった文法内容を確認して、この段階の問題をこなせるように基礎を固める。多くの練習問題をこなすことで自力をつけたい。更に中国語検定の受験なども視野に入れて頑張ってもらいたい。週に1度の授業時間のみ教科書を開くようでは、使える言葉にはならないので努力を期待します。							
到達目標			評価方法					
(1)初級文法を理解していること。 (2)教科書に出てきている単語が使えること。 (3)相手の質問内容を理解し、適切に答えを返せること。 (4)中国社会やそこで生活する人々と日本や日本人のものの見方の違いを知ること。			①前期定期考査(中間+期末):40% ②後期定期考査(中間+期末):40% ③自学自習としての課題:20%					
学習・教育目標		(G)2	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	復習(1)	・初級の内容(基本文型、品詞)を確認する。		第16	第9課	・数字関連まとめ	
	第2	復習(2)	・初級の内容(疑問文、時を表す表現)を確認する。		第17	第9課	・数字関連まとめ	
	第3	復習(3)	・初級の内容(アスペクト、助動詞)を確認する。		第18	第10課	・場所と位置 ・要点:方位詞、持続を表す“着”	
	第4	第1課	・あいさつ(1) ・要点:自己紹介の方法(1)、過去を表す助詞		第19	第11課	・道をたずねる(1) ・要点:道をたずねる時によく使う表現、前置詞	
	第5	第1課 第2課	・あいさつ(2) ・要点:自己紹介の方法(2)、動詞“叫”		第20	第12課	・道をたずねる(2)-地下鉄とバス- ・要点:複文、離合詞、“一点見”	
	第6	第2課	・あいさつ(1)(2)まとめ		第21	第13課	・道をたずねる(3)-タクシー- ・要点:“了”の用法2種、前置詞、仮定表現	
	第7	第3課	・教室用語 ・要点:教室で使う決まり文句、完了を表す“了”		第22	まとめ	・場所を表す表現と「問路」のまとめ	
	第8	中間まとめ	・中間まとめとして試験を実施する。		第23	中間まとめ	・中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	第4課	・数字		第24	補語まとめ	・方向補語、結果補語、可能補語、様態補語の確認、練習	
	第10	第5課	・数字と量詞 ・要点:もの数え方、比較文		第25	第14課	・入国 ・要点:可能の助動詞、方向補語の抽象的意味	
	第11	第6課	・金額と買い物 ・要点:貨幣単位、値段の言い方、買い物でよく使う表現、“是～的”構文		第26	未習内容の確認	・受け身、使役文の確認、練習	
	第12	第7課	・両替 ・要点:少数、分数、概数、処置文		第27	第15課	・宿泊 ・要点:時量補語、“～的時候”	
	第13	第8課	・時間 ・要点:時点、時量、時のたずね方		第28	第16課	・飲食(1) ・要点:選択疑問文、願望、義務の助動詞	
	第14	数字まとめ	・数字を使った練習問題		第29	第17課	・飲食(2) ・要点:複文、結果補語“好”、疑問詞の不定用法	
第15	まとめ	・前期のまとめをする。		第30	まとめ	・全体のまとめ、授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容	・内容定着のためにテキストのヒアリング問題、練習問題やプリント練習を課す。							
関連科目	4年次の中国語							
教科書	『中国語リスニング道場』(遠藤雅裕、陳淑梅、柴森著、朝日出版社)							
参考書	4年次に使っていた辞書。新たに購入する場合は『はじめての中国語学習辞典』(相原茂編著、朝日出版社)を勧める。							
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。							
副担当教員	高橋 正和:TAKAHASHI Masakazu							
備考	辞書は必ず必要。授業には必ず教科書を持参すること(不携帯は減点の対象になります)。							